科目ナン	バリン	グ U-3	LAS01 200	012 SJ38									
授業科目:	名 _{Introd}	ductory S	パ歴史・社会論基礎ゼミナール ory Seminar on European Social				旦当者所属 人間・環境学研 職名・氏名			研究科 准教授 福元 健之			
群	人文・社会科学科目群 分野(分				歴史・	史・文明(各論)				使用言語 日本語			
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ		授業用	受業形態 ゼ		チール(対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2025 •	2025・後期 曜時限 水5			配当学年		全回生		対象学生		全学向		

[授業の概要・目的]

本演習では、前半で邦訳された史料を、後半でその史料に関連する良質な日本語の研究書を読む。今年度は、ヨッヘン・フォン・ラング編(小俣和一郎訳)『アイヒマン調書 ホロコーストを可能にした男』を前半のテキストにし、アイヒマンという具体的な個人から、ナチズムやホロコースト、ユダヤ人の歴史について議論する。そして、後半では、教員が作成した関連文献リストから一つ専門書を選んでもらい、各受講者による専門書への批評をもとに議論する。

[到達目標]

西洋近現代史の基礎知識を学ぶことを通じて、史料を歴史学的に分析する方法の基礎を身につけ、 また自らの考えを言語化できるようになる。

[授業計画と内容]

- 1.イントロダクション
- 2.アイヒマンとは誰か?
- 3~8. 史料を読む

ョッヘン・フォン・ラング編(小俣和一郎訳)『アイヒマン調書 ホロコーストを可能にした 男』を精読する。六部構成の当該文献を毎週一部読み進める。担当者は、該当箇所のレジュメを作 成し、報告・問題提起を行う。それを踏まえて、出席者全員で議論する。

9~14.指定された関連文献を批評する

 史料を読んでえられた知識を、良質な日本語の研究書の読解を通じてさらに深める。受講者は、 指定された文献から一つ選び、その本の内容と問題点をレジュメにまとめ、報告する。

15.フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

報告の内容、演習中の発言、出欠状況をもとに、平常点で評価する。

[教科書]

ヨッヘン・フォン・ラング編(小俣和一郎訳) 『アイヒマン調書 ホロコーストを可能にした男 (岩波書店、2017年)ISBN:9784006003678(入手方法については、別途初回に説明します。)

ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール (2)
[参考書等]
(参考書)
授業中に紹介する
[授業外学修(予習・復習)等]
毎回、決められた文献を読んだうえで出席することが前提となる。また、報告担当者は、レジュメ を作成し、それに基づいて報告を行う。他の出席者からの質問に答えられるように、分からないと ころも調べてくることも求められる。
[その他(オフィスアワー等)]
[主要授業科目(学部・学科名)]